

京都市中央卸売市場第二市場運営協議会

令和 7 年 3 月 3 日（月）午後 1 時～

開 会 午後 1 時

進 行 山原業務課長

挨 拶 船橋場長

出席状況報告（五十音順・敬称略）

出席 8 名：大西雷三、澤田季江、関山哲平、田川弘美、新山陽子、東祥太郎、宮田典幸、山口道利

欠席 1 名：高松令子

委員 9 名中 8 名出席により、会議成立を報告。

（事務局：船橋場長、山原業務課長、林市場活性化係長）

議事 1 「会長の選任について」

新山委員を会長に選任。

山口委員を副会長に選任。

議事 2 「京都市中央食肉市場の令和 6 年度の取扱状況について」

議事 3 「京都市中央食肉市場運営方針の進捗状況について」

新山会長：事務局から議事 2、議事 3 を一括して説明をお願いします。

事務局から資料 2、資料 3、及び参考資料 3 の内容を報告。

新山会長：事務局の説明を踏まえ、各委員から質問、意見を伺いたい。

大西委員：売買参加者団体としては、入荷頭数だけでなく「質」も重要である。全国の優良な生産者から集荷いただいております。牛肉の輸出は、枝肉加工手数料といったコスト面の競争力を高めることが重要と考える。

澤田委員：消費者の立場から質問させていただく。京都府内から入荷する豚は、どの地域で生産されているのか。また、学校給食で当市場経由の牛肉・豚肉がどの程度使われているのか。

事務局：京都府内から当市場へ入荷する豚は、主に丹波地域で生産されている。学校給食での流通量については把握していない。

澤田委員：小中学校の市場見学は受け入れているのか。

事務局：と畜作業の見学は高校生以上としている。

関山委員：京都市中央食肉市場で処理、加工された安全・安心なお肉を P R することは重要と考える。公式 SNS ではどのように情報発信しているのか。

事務局：公式 SNS では、市場で厳選・加工された安全・安心・高品質で美味しいお肉である「京都食肉市場ブランド」を消費者の皆様に P R している。京都食肉市場ブランドのお肉を使用され

る飲食店の紹介のほか、市場や食肉文化に一層関心を持っていただけるコンテンツを発信し、消費拡大に繋がるよう工夫している。

田川委員：生産者団体の立場から現状をお伝えしたい。京都府内の牛の繁殖農家、肥育農家は、物価高や牛肉需要の低迷、飼料代の高騰等の影響により厳しい状況にある。生産基盤が小さく、地域が結束して支えていく必要があると考えており、今後とも協力をお願いしたい。

東 委員：牛の月別平均価格が推移した要因について教えてほしい。

事務局：牛枝肉の平均価格は、需要期である年末年始や春のお祝い需要、お盆の時期に上昇し、需要期後に落ち着く傾向がある。

宮田委員：卸売業者として、今年度多くの牛を集荷できた。生産者には売買参加者のニーズに合った牛を肥育していただき、売買参加者には高値で購買していただいている。今後もより良い市場作りを進めてまいりたい。

山口委員：牛肉の輸出量が伸びている中、市場運営方針の個別指標9「家畜防疫研修の実施」など、防疫活動にしっかり取り組むことが非常に重要と考える。

新山会長：各委員の御意見にもあったように、市場は食肉流通の核であり、期待される役割も大きい。今後とも市場運営方針に沿い、しっかりと取組を進めていただくことが重要である。

議事終了

閉 会 午後2時00分